

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		コンビニ（経営者）	・近隣で10年越しの再開発事業が動き出すため、工事関係者を中心にコンビニやレストランへの来客数が増加する。
		コンビニ（経営者）	・来客数は変化していないが、弁当などの食料品は前年水準を維持しており、今後も伸びる余地がある。
		衣料品専門店（経営者）	・値ごろ感のある婦人衣料を販売をすれば、業績が上向く。
		家電量販店（店長）	・電力異常の関係もあり、省エネが注目されている。冷蔵庫などでは、電気代が10年前の10分の1以下という商品も出ている。夏に向けてエアコンも動くという予測をしており、期待する商品がこれから増加するので、やや良くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・国内需要が増加すると予想できる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会場のリニューアル効果が出始めており、受注残を順調に維持できている。
		通信会社（企画担当）	・新商品を用意しているので、大きく期待している。
	観光名所（職員）	・いろいろな業者にあたるなど、集客の努力の結果、客が定着している。	
	変わらない	一般小売店〔茶〕（営業担当）	・必要な品は購入するが、余計な品までは購入しない傾向が継続している。法事のギフトについても、一人当たりの購入金額は減少している。
		百貨店（売場主任）	・3月後半は気温も上がったため、春物商品の動きが非常に良くなってきているが、全体としてはこのまま厳しい状況が続く。
		百貨店（売場主任）	・UV関連商品が比較的順調に推移するものの、前年のサッカーワールドカップのような特別な需要が見込めない。
		百貨店（営業担当）	・前年と大きく異なり、気温の低い日が続く、雨が多いこともあり、春物衣料品が低迷している。戦争も始まり、長期化する様相を呈していることから、景気への影響が懸念される。天候の動向が春物、初夏物衣料品の売出しに影響するため、売上動向は現状のままで推移する。
		スーパー（店長）	・気温の低下で春物が売れていないのが大きな要因であるが、卒業、入学、入社等の行事関連商品も売上が良くない。イラクの戦争が長引くと、景気低迷が更に続く。
		スーパー（店長）	・来客数は維持しているものの、客単価が下げ止まらず、売上の増加はなかなか望めない。
		スーパー（店長）	・イラク情勢が非常に不安定であり、この問題が早期解決すれば状況が変化するが、現状ではこのまま推移する。
		衣料品専門店（経営者）	・イラク戦争の行方、北朝鮮の動向、公務員やサラリーマンの給料や年金など、心理的な不安がある。実収入が減少しているため、財布のひもが堅い。預金金利を5%程度まで上げれば、心理的に金を使う気分になるかもしれない。
		乗用車販売店（営業担当）	・新社会人の注文等も全くなく、状況は変わらない。
		その他専門店〔キャラクターグッズ〕（従業員）	・新商品の発売や販促イベントの実施により、売上、集客増を期待しているが、結果には結びつかない。
		その他専門店〔眼鏡〕（店員）	・月によって来客数が不安定であり、好調を持続できるまでには至らない。
高級レストラン（宴会予約担当）		・イラクの戦争が長引いて海外挙式が取り消しになれば、国内挙式に取り込める可能性があるが、どの程度振り替わるかは未定である。	
都市型ホテル（スタッフ）	・夏の婚礼対策として、今年限りの季節限定プランを導入した結果、婚礼の受注件数は昨年並みとなっているが、今後の打ち合わせで単価上昇が図れないと、状況が悪くなることもある。婚礼一件当たりの利用人数も減少しており、先行きは不透明である。		
旅行代理店（従業員）	・イラク戦争が終わっても、今後の需要の動向は変わらない。この2、3か月では、消費者に余裕は生まれない。		
タクシー運転手	・イラク情勢が不透明なので、変わらない。		
タクシー運転手	・規制緩和から1年たち、車の数が増加する一方、客は減少するばかりで、このままでは共倒れになる心配がある。		
タクシー運転手	・イラク戦争が始まり、景気が良くなるとは思えない。		
タクシー運転手	・イラク情勢が終結しない限り、景気に変化はない。		

	通信会社（営業担当）	・当社のみならず、入居している大型のショッピングセンターの客の様子や、経営者間の情報交換からも、景気の厳しさは変わらず、明るい材料が見当たらない。
	その他レジャー施設（経営者）	・営業はできているが、新規客の開拓まではできていない。イラク情勢の影響で、皆早く帰宅してテレビを見ているのではない。
	その他レジャー施設 [アミューズメント]（職員）	・イラク情勢は、現在のところ当業界に悪影響を与えていない。逆に、良い方向に作用しているかもしれない。しかし、長期的にはマイナス要素であり、当業界にも影響が出るのは時間の問題である。
	設計事務所（所長）	・仕事が少ない中で、過当競争が目立つ。住宅もマンションも数が増えすぎていて、これから先どうなるか分からず、不安である。
	住宅販売会社（経営者）	・イラク情勢が客の属する会社の景気にどう影響するかによるが、住宅を求める人は潜在的に多い。戦争を遠い世界のことと感じている人が多いせいか、今のところ直接的な影響は出ていない。今後戦争が終わることを考えれば、それほど変わらない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・イラク情勢がかなり影響している。イラクは日本から遠い国であるが、テレビで報道されているので、無関心ではいられず、みんな心配している。
	商店街（代表者）	・商店街に来店する客の動向、株の動き、イラク情勢など、心理的なものが影響している。各事業所でリストラの対象となっている客もかなりいるようで、購買意欲が低下している。
	一般小売店 [鞆・袋物]（従業員）	・戦争が始まり、マスコミが騒いでいるので、海外旅行をはじめ、全ての面で景気が左右される。客はマスコミの報道に敏感であり、戦争が終わって半年間くらいは、厳しい状況が続く。
	百貨店（売場主任）	・景気が上向く様子が全くみえず、戦争による漠然とした不安感が影響して、3か月後は悪くなる。
	百貨店（企画担当）	・店頭の動きをみていると、天候が良くても昨年実績に達するのがやっとで、少しでも天候が悪いと売上が30%程度落ちている。前年比でプラスを出せる日が少なく、月全体で前年並みは確保できない状況がずっと続いているため、今後も全く楽観できず、厳しい状況が続く。このままでは、経費削減も売上減に追いつかず、経営は更に厳しくなる。
	百貨店（販売促進担当）	・天候が回復すれば、春物の動きが良くなると予測される。ただし、今のところ直接的な影響は出ていないものの、戦争が始まったので、買い控えが広がることが懸念される。
	百貨店（販売促進担当）	・イラク情勢の長期化による先行きの不透明感が、一般庶民にまで及んでいる。また、年金や医療保険制度の先行き不安が、今後の消費動向にも悪影響を及ぼしている。
	百貨店（営業企画担当）	・百貨店の主力顧客である40歳代から50歳代向けのファッション衣料が、前年比10%割れである。イラク情勢の影響も加わり、新しいファッションを身に付けようという心理にならず、実需要のみの消費にとどまる傾向が更に強まる。
	スーパー（運営担当）	・イラク情勢の長期化が、世界情勢を圧迫する危険性がある。
	衣料品専門店（経営者）	・良くないニュースばかりが報道されている。イラク情勢も長引く様子で、先行き不安な要素が多すぎる。
	衣料品専門店（販売担当）	・春物衣料がいまひとつ盛り上がらない。客足も、戦争が始まった日の午後はぱったり少なくなった。今後、景気は少し悪くなる。
	乗用車販売店（営業担当）	・イラク戦争が落ち着くまで、景気は上向きにならない。
	乗用車販売店（販売担当）	・イラク情勢とテロへの不安、金融の先行き不透明感などが払拭できていない。
	その他小売 [雑貨卸]（経営者）	・イラク情勢と北朝鮮の不安定な状況が続く。
	一般レストラン（経営者）	・イラク情勢の影響が消費に出ている。今後どのようになるか分からないという警戒心が、輪を掛けて消費を鈍らせている。
一般レストラン（店長）	・客は酒の席でも、戦争の先行きへの不安や3月決算の結果を話題にしており、今後景気が悪くなると考えている客が多い。	

		都市型ホテル（スタッフ）	・戦争により官公庁関係の検討が少なくなる。ガソリンの値段が上がるので、トラックやタクシーの組合の自粛が懸念される。
		都市型ホテル（スタッフ）	・イラク戦争が長引くと、宿泊、宴会需要ともに、大きく落ち込むことが予想される。
		旅行代理店（従業員）	・春先の旅行の問い合わせや受注が特にならない。
		旅行代理店（従業員）	・イラク戦争の長期化により、客の海外への出控えが予想される。
		タクシー（団体役員）	・株価も下がり、イラク情勢も互いの情報合戦の様相を呈している。世界的反戦運動も広がっており、良い材料が全くみえてこない。
		パチンコ店（経営者）	・イラクで戦争が始まり、長期化しそうであること、現状がさほど良くないことから、先行きは厳しい。
		美容室（経営者）	・イラク情勢の影響が間接的に出る。今後どうなるか、予測がつかない。
		その他サービス〔語学学校〕（総責任者）	・訪問者数、販売数、他社の動きから、厳しい状況が続くと判断できる。イラク情勢を受け、留学センターの来訪者が減少している。
		住宅販売会社（従業員）	・税制改革などがあり、販売量については相応の数が見込めるが、仕入が全くできていないため、2、3か月後に売り物が無い状況が続く。
	悪くなる	一般小売店〔茶〕（経営者）	・イラクでの戦争が長引くという予想があり、消費者も必要以外は出費を抑えるため、消費が落ち込む。
		一般小売店〔米穀〕（経営者）	・今まで売れていた新潟米や新潟の魚沼米が暴騰している。この状況が続けば、客が敏感に反応して得意客が減る。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	・戦争と選挙が影響する。
		コンビニ（経営者）	・イラク戦争等の影響をどの程度受けるか、心配している。
		衣料品専門店（経営者）	・イラク情勢の影響で、皆が怖くなって金を使わなくなっている。学生服についても、中古品をもらうなど、新しく購入する客が大きく減少している。
		衣料品専門店（次長）	・イラク情勢の影響で石油価格が上昇し、製品材料の価格も高騰するため、消費が冷え込む。
		自動車備品販売店（経理担当）	・売れ筋商品が伸び悩んでいる。注文をもらっても、客の都合で、ほとんどが取り消しになる。
		一般レストラン（経営者）	・戦争終結の時期が問題である。景気の不透明感は拭えない。
		スナック（経営者）	・3月は送別会シーズンなので、例年であればにぎわう時期であるのに、今年は送別会の数が少なく、行っても小規模である。4月、5月は新入社員の歓迎会があるが、こちらも期待できない。
		通信会社（社員）	・イラクでの戦争の長期化によって、日本の対米支援額が巨大になり、景気が悪くなる。
		美容室（経営者）	・周辺にディスカウント店が増えすぎている。
		設計事務所（経営者）	・昨年の12月以降、新しい仕事が全くない。同業者にも仕事は皆無で、民間、行政いずれからも仕事がない。戦争の影響もあるかもしれないが、6、7月まで仕事がない状態が続く。
		住宅販売会社（経営者）	・従来と比較し、金融機関の融資が非常に厳しくなっている。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・企業からの注文が例年になく増加しており、忙しい。
	変わらない	繊維工業（経営者）	・イラク情勢等で、世の中全体が沈滞ムードとなっており、この傾向は当分継続する。
		金属製品製造業（経営者）	・試作仕事が主である当社の3月売上は、期末に多くの取引先で予算がなくなったため、20%減となりそうである。多くの取引先では、4月後半ごろから来期の予算が使えるが、その額は前年度並みである。イラク情勢の悪化、北朝鮮問題が流動的で、仕事が減ることはあっても増えることはないという取引先に言われている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・今後のイラク情勢に注目している。一部の会社で受注が減少しているという話はあるが、その他の会社ではまだ影響はないようである。弱電関係は、相変わらず忙しいようである。
		電気機械器具製造業（経営者）	・引き合いや見積り要請の状況から、この先も今まで通りの受注は確保できる。戦争の影響は今のところない。
		建設業（経理担当）	・新年度を迎えるが、予算をみると、今までの年のような明るい材料が見当たらない。

	金融業（審査担当）	・前向きな資金需要が依然として少なく、取引先の受注や売上高も減少している。	
	金融業（渉外担当）	・来年度の設備投資計画について、更新投資程度ですませる企業がほとんどであり、借入をしまで設備投資をしようとする企業は皆無である。	
	税理士	・イラク情勢、北朝鮮の問題があって、それらの影響による米国の景気の動きが、国内の問題よりも主である。	
	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・新規問い合わせも入るようになってきているが、取引がなくなったり、取引量が減少しているケースも多く、全体ではまだ厳しい状況が続く。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・IT関連設備への投資について、顧客が新年度の予算要求をしても、実際に予算がつくのか、難しい状況である。	
やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・受注から納品までの期間が短縮されている。得意先からの発注も遅くなり、3か月先の見通しが立てにくい。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・新年度恒例の値下げ、値引き競争、イラク情勢の長期化で、先行きが非常に心配である。	
	建設業（営業担当）	・不況の影響もあり、設備投資ができる余力のある顧客が少なくなっている反面、イラク情勢の緊迫化に伴い物資が高騰していることもあり、仕事の受注にも影響している。当面、景気の回復は期待できない。	
	金融業（得意先担当）	・以前は建設関係の倒産が多かったが、今は業種にかかわらず倒産、不渡りが増加しており、今後も増えると予想される。	
	不動産業（総務担当）	・空室を埋めるためには、賃料の思いきった値下げしか手段がなくなる。	
	広告代理店（従業員）	・全体的に売上が落ちている。行政の仕事に伴う売上も、軒並み減少している。	
悪くなる	食料品製造業（経営者）	・石油製品の値上がりにより、原材料などの値段が上がる。	
	輸送業（総務担当）	・得意先の新年度の出荷計画では、現在の輸出の特需はあるが、安定確保が必要な国内出荷が昨年比60%となっており、非常に厳しい。今年は昨年以上に厳しくなると認識している。	
雇用関連	良くなる	-	
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（営業担当）	・積極採用に向けて、動き始めているところが出てきている。
		求人情報誌製作会社（編集担当）	・4月に主要駅前の再開発ビルがオープンするので、街に活気が出る。 ・大手企業の進出の話もあり、それに伴う雇用が見込める。
変わらない		職業安定所（職員）	・パートの比率が多少高くなってきているが、求人は確実に増加を続けており、今後数か月も同様に推移する。
		人材派遣会社（社員）	・中小企業の経営者の多くは、4月以降景気が持ち直すと考えていたが、戦争が始まったため、この数か月は良くならないと考える人が増加している。
		求人情報誌製作会社（企画担当）	・株価の下落により、中途採用を計画していた企業が採用を見送る状況が生じている。先行きについては、全く不透明である。
やや悪くなる		職業安定所（職員）	・正社員求人は前年並みで、パート求人の増加率の方が高い。求人の内容については、業務請負業の大量求人が目立つ。求職者数は前年並みであるが、人員削減の情報は多く、今後も現在の状況が続く。
		人材派遣会社（支店長）	・米国同時多発テロの時には、多くの外資系企業の契約が終了した。今回の戦争により、同様のことが起きる可能性がある。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・3月であるにもかかわらず、募集広告数が例年よりも減少している。連休明けには、今以上に減少することが予想され、中高齢者にとって非常に厳しいと予想される。
		職業安定所（職員）	・求職者の自己検索機利用状況を分析すると、25～34歳で23.5%、50～59歳で28.7%と、これらの年齢層で全体の52.2%を占めている。高齢者の滞留、若年者の労働条件等の悪化がうかがえる。
悪くなる		学校〔専修学校〕（就職担当）	・採用計画を未定に変更した企業担当者から、更に採用見送りとなる可能性が高いという話を多数聞いている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・雇用条件が良くなる兆しがない。大企業出身の中高年齢者が再就職した場合、給料が半減するのは常識となっている。
	学校〔短期大学〕（総務担当）	・国内における金融等の経営不安、国際的にはイラク情勢の長期化による経済不況の恐れが感じられる。	